

令和3（2021）年度

地域学校協働活動推進員養成研修② 実施報告

実施日：令和3年7月15日（木）

地域学校協働活動推進員養成研修（第2回）は、受講者が自身の経験を振り返りながら、地域学校協働活動推進員として必要となる「ボランティア・マネジメント」について、理解を深めました。

講話・演習「ボランティアコーディネーションの技法」
NPO 法人 まなびのたねネットワーク
代表理事 伊勢 みゆき 氏

伊勢氏は、学校と地域の連携・協働の支援を通して、青少年を育み市民が育つ地域社会づくりに寄与することを目的に、仙台を拠点として子供も大人も主体的に学び、育つ環境づくりを進めている NPO 法人まなびのたねネットワークの代表理事を務めています。

新型コロナウイルス感染防止対策に留意し、対話やワークを取り入れながら進めていただきました。



○午前〈10:05～12:00〉

- コミュニケーションカードを用いた自己紹介
- 子供たちの今と未来の姿
- これからの子供たちが必要なこと、身に付けること

最初に、自分の行動やコミュニケーションの傾向を知ることがをねらいとして、コミュニケーションカードを用いた自己紹介を行いました。その後、自分と相手の行動傾向を理解したコミュニケーションが、スムーズなコーディネートにつながることをお話しいただきました。

次に、受講者が関わっている子供たちの25歳、15歳、現在の姿をそれぞれイメージして、ワークシートに書き出し、互いに発表したことで、同じようにコーディネートに携わっていても、それぞれがイメージする子供たちの姿には違いがあることに気がきました。さらに、「子供たちにこうなってほしい」という目標が共有されていないと、今の活動で何を大切にしなければならないか、新たにどんな活動に取り組むべきかなどに、違いが生じてしまうことにも気がきました。その後、活動を共にする仲間同士や、地域と学校がどんな子供を育てたいのかについて共通の認識をもつことが重要であることをお話しいただきました。

また、Society5.0の動画を視聴し、急速に変化する社会の中にある子供たちが大きく成長していくためには、学校、家庭、地域が一体となって子供たちを育む必要があることについてもお話しいただきました。

受講者は、改めて自身の活動の意義を確認できたようです。

○午後〈13:00～15:20〉

- ボランティア・マネジメント
- 小1生活・学習サポーターの紹介
- ボランティアコーディネートの流れ

ミラーストレッチのアイスブレイクから、午後の研修がスタートしました。

午後は、コーディネーターとして活動するために必要なボランティア・マネジメントについて理解を深めることをねらいとして、研修を進めていただきました。

最初に、地域学校協働活動の実践事例を紹介いただきました。そして、学びにつながるコツやボランティアの考え方、ボランティア・マネジメントについてお話しいただき、その後「小1生活・学習サポーター」の動画を視聴しました。

最後に、受講者自らが携わっているボランティアコーディネートの流れを、ワークシートを使って発表し合い、意見交換を行って自分のコーディネートに足りないことや大切にすべきポイントなどを考えました。その後、ボランティアをしたいという人たちの思いを、学校側からの要望に上手につなぐことがコーディネーターの役割であることをお話しいただきました。

受講者は、地域学校協働活動推進員として活動するためのボランティア・マネジメントについて理解を深めたことで、コーディネートに活かすヒントを得ることができました。



【受講者の感想から】

- 人をつなげる前に、最も必要な自分自身のことを知ることができました。自分の思いを共有することでうまく進んでいくのだなと感じました。
- 自分のコミュニケーションの行動傾向を、客観的な方法で知ることができ、自分を見つめ直すことができました。参加された皆さんがそれぞれ違うのも面白いなあと感じました。貴重な機会を与えていただき、ぜひ職場の方々にも教えたい、伝えたいと感じました。
- 伊勢先生の体験を通した「教え」「言葉」は共感できることばかりでした。
- コミュニケーションカードを用いた自己理解と他者理解がとても参考になりました。自分を理解して初めてコミュニケーションが円滑に行えるのだと感じました。
- 自分が思っていたのとは違う行動傾向だったのでびっくりしました。自分にもこんな面があったのかと新たな発見になりました。午後の研修も、具体的な事例をたくさんあげていただき、とても参考になりました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp